

地域連携センター Newsletter

特集：ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業

令和3年度、文部科学省より大学改革推進等補助金「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる 医療人材養成事業」の交付を受け、VR（バーチャルリアリティー）機器やシミュレーションルームの整備を行いました。看護学部1年生はこれらを用いて多角的かつ実際的な情報収集技術やコミュニケーション技術等を学んでいます。



シミュレーター人形を使ったデモンストレーション



デモンストレーションのオンライン中継

授業「環境を整える技術」では、作成したVR教材を使用し入院環境を疑似体験しました。「実際にその場にいるような感覚で観察できてわかりやすかった」等の感想がありました。授業「傾聴と質問技法」や「情報収集の技術」では、教室とシミュレーションルームをオンラインで繋ぎ、学生は看護師を演じる教員と模擬患者との相談場面や患者シミュレーターの腹部の聴診や触診を行っている場面を観察、質問しました。「リアルタイムでデモンストレーションがあったのでわかりやすかった」や「見たいところがアップになりわかりやすかった」等の感想がありました。

事業実施部会

報告：研修の開催、イベントへの参加、表彰、院生・修了生の活躍

【診療放射線技師法改正に伴う告示研修の開催】

診療放射線技師の業務を見直す法改正に伴い、令和6年4月1日以前の免許取得者は厚労大臣指定研修の受講が義務付けられました。このうち、造影剤等の投与を目的とした静脈確保、注入装置への造影剤の接続、消化管検査で挿入されたカテーテルからの造影剤の注入・吸引やカテーテル抜去など実技研修については、本学を会場に年間6回程度開催します。

診療放射線技師の業務拡大と安全性の向上に向けて、本学教員が研修の運営や調整に携わっています。

群馬県診療放射線技師会
日本診療放射線技師会 共催



1月22日に本学で行われた静脈確保実技演習の様子

【がん征圧チャリティーイベントに学生・教職員が参加しました】



会場：ALSOKぐんま総合スポーツセンター
開催：R4年10月8日

今回で10周年となるリレー・フォー・ライフジャパンぐんまに、学生・教員12名が参加しました。他校の学生や約1000名の参加者と協力し、ルミナリエの設置を行いました。がん予防に向けたメッセージを手に明るい笑顔でリレーを繋ぎ、闘病者へのエールを送りました。ルミナリエに書かれた闘病者や家族の想いに触れることで、看護職を目指す熱意が高まるとともに、がん予防や早期発見の大切さを学ぶことができました。

【前橋市市政功労者表彰の受賞について】

診療放射線学部の杉野雅人准教授が、前橋市放射線管理アドバイザーとして長年にわたり前橋市の保健衛生行政に協力され、市政発展に貢献した功績から、「前橋市市政功労者表彰」を受賞しました。



杉野雅人准教授

【大学院修了生が認定看護管理者（CNA）認定審査に合格しました】



牛込綾子さん

看護学研究科博士前期課程、看護管理者キャリア開発コース修了により、認定審査の受験資格を得た牛込綾子さんが、日本看護協会認定看護管理者（CNA）認定審査に合格しました。質の高い医療サービスの提供に向けて、所属組織の課題解決や連携の向上を図るとともに、県立病院や県内地域全体の医療の質向上に向けて、今後の活躍が期待されます。

【大学院診療放射線学研究科生が北米放射線学会で表彰されました】

第108回北米放射線学会において、本学大学院診療放射線学研究科博士前期課程1年生の及川憩人さんが「Development of A Training Simulator of Plain Radiography Using Augmented Reality Technology」の学術発表を行い、「Certificate of Merit」を受賞しました。

共同演者：診療放射線学部 寺下貴美准教授 小倉敏裕教授 佐藤哲大准教授



及川憩人さん(中央)

お知らせ

◆本学教員による「出前講座」をご活用ください

皆様の健康などに役立つ様々な講座を用意しています。講師の派遣は無料です。是非ご活用ください。

◆「公開授業」再開のご案内

群馬県の文化や、人間の発達と健康などに関する授業の公開を再開します。

◆「看護研究セミナー」の受講生を募集します

県内の保健医療関係職の方を対象に、看護研究を実施する際に必要な研究の基礎的知識を習得するためのセミナーを開催します。



詳細は本学ホームページをご覧ください。